

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

きょうさいだより



中村 正幸氏撮影

SASEBO KYOSAI HOSPITAL

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号
(代表)TEL0956-22-5136

紹介受付専用FAX(地域医療連携室) ☎ 0120-12-2067

ホームページ <http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

急患室直通FAX電話 0956-22-6052 (代表)FAX 0956-25-0662

※休日・夜間のご連絡は、急患室直通的番号でご連絡下さい。

ごあいさつ

き でら よし ろう
院 長 木 寺 義 郎



仕事帰りに四ヶ町アーケードを抜けて佐世保駅付近までのウォーキングで疲れをとっています。短い距離ですがウインドウの照明や人の流れで気分が変わります。アーケードの外れに整備された京町公園があります。ここに1つの文学碑があります。明治40年(1907年)の7月から与謝野鉄幹、北原白秋ら5人の文人が平戸、天草などを旅し、紀行文「五足の靴」を東京の新聞に連載しました。佐世保にも立ち寄りましたので、これを記念した碑で「この地、京屋旅館に宿泊、佐世保夜店の詩を残す(鉄幹)」とあります。一行のひとりが太田母斑で有名な木下杢太郎(太田正雄)で、後に東北帝国大学および東大の皮膚科教授となり皮膚科学に多大な貢献をしました。一般的には詩人、戯曲家、小説家としての方が有名です。よく知られている事柄ですが、ちょうど1世紀が経過したので紹介しました。



診療部長就任の御挨拶

やま だ じゆん
山 田 潤



- 略 歴
- 出身地/佐世保市
 - 昭和52年/長崎大学医学部卒業
 - 主な職歴/昭和52年 長崎大学医学部 泌尿器科入局
 - 昭和59年 佐世保共済病院
 - 昭和61年 長崎市立市民病院
 - 平成元年 佐世保共済病院
 - 専門領域/尿路結石、尿路腫瘍、泌尿器一般
 - 所属学会/日本泌尿器科学会
日本Endourology,ESWL学会
日本小児泌尿器科学会
西日本泌尿器科学会など

平成20年7月1日に佐世保共済病院診療部長を拝命しました。私は元々当院で生を受け、医師として勤務して20年になりますが、今回の大役を何かの御縁と思い、新たなる志でうけるつもりです。最近、医療崩壊、医師不足、後期高齢者医療制度など、医療問題がマスコミで頻繁に報じられています。2004年より始まった新臨床研修制度による全国的な医師不足

が当院にも押し寄せ、小児科、脳外科、内科の医師確保が困難となり、当院最大の危機に陥りました。しかし、木寺院長を始めとする皆さんの努力で小児科医も3人となり、又脳外科医も2009年には2人体制で通常の医療が維持できるようになりました。当院は現在まで、職員、患者さん、周囲の先生の協力で健全な病院運営を行ってまいりました。最大のピンチは最大の好機といわれていますが、今後当院を県北の医療に貢献できる病院にするために、努力するつもりであります。宜しくお願いします。

泌尿器科部長就任の御挨拶

泌尿器科部長 **江口 二朗**



略歴

- 出身地／佐世保市
- 出身大学／長崎大学 昭和60年卒業
- 主な職歴／昭和60年 長崎大学泌尿器科入局
平成13年 長崎大学医学部附属病院
平成19年 日本海員膵済会長崎病院
平成20年 佐世保共済病院
- 専門領域／男性不妊症、尿路結石症、
尿路上皮腫瘍
- 所属学会／日本泌尿器科学会
日本生殖医学会
日本Endourology・ESWL学会
日本アンドロロジー学会

平成20年4月にほぼ30年ぶりの故郷佐世保に帰ってきて、7月からは山田診療部長の昇進に伴い泌尿器科部長を拝命しました。泌尿器科は山田診療部長が平成元年に着任以来、尿路結石症や尿路生殖器癌治療をはじめとした着実な診療実績を挙げて、医師も当所の2人から現在では4人の診療体制となっており、多くの手術症例も手がける事ができています。私は長崎

大学附属病院では尿路上皮腫瘍／尿路結石症を担当のグループに属していて、主にその診療に従事していましたが、男性不妊症の専門外来も10年余に亘り担当してその外科的治療も行ってきました。これまでの経験をいかして故郷佐世保で地域医療に貢献していきたいと思っていますので宜しくお願いいたします。

新採用医師の紹介

- ①出身大学・卒業年度 ②在籍医局
③専門領域 ④出身地 ⑤趣味、その他一言



小児科

くろだ なおひろ
黒田 直宏

- ① 山口大学 平成9年卒
- ② なし
- ③ 小児科一般
- ④ 宮崎県
- ⑤ 旅行、お酒。よろしくお願ひします。



放射線科

まつふじ なほ
松藤 奈穂

- ① 久留米大学 平成16年卒
- ② 久留米大学 放射線科
- ③ 放射線科一般
- ④ 福岡県
- ⑤ 趣味はスノーボードです。そしてお酒(ビール)です！一生懸命がんばりますのでよろしくお願ひ致します。

小児科診療体制について

小児科部長 **岡 尚記**

当院小児科におきましては、深刻な小児科医不足の影響を受け、平成20年4月より医師2人体制で主に新生児の入院を対象に診療を行ってまいりました。そのため時間外診療や休日診療のご紹介をお受けできなくなり、また、平日の外来診療および入院につきましても以前に比べ十分な対応ができないなど、先生方には多大なご迷惑をおかけして申し訳なく存じていたところです。

この度、本年7月より平成9年卒の黒田直宏医師が赴任し小児科医3人による診療体制となり、これにより一般小児科の入院につきましても以前と同様の対応が可能となりましたので、今後の入院診療体制についてお知らせいたします。

- ① 平日の入院に関しましては、先生方の診療時間内の紹介入院には対応いたします。
- ② 土曜日につきましても、9:00から18:00までの時間帯はご連絡いただければ当番医が対応いたします。
- ③ 休日救急診療所を受診した患者さんで当院での入院を希望される方につきましては、平日は20:00から23:00まで、休日は10:00から18:00までの時間帯はご連絡いただければ当番医が対応いたします。
- ④ 周産期医療につきましては、以前に復して原則妊娠30週以降の妊婦に対応致します。

※他にご要望等がございましたら、遠慮なくご連絡くださるようお願いします。

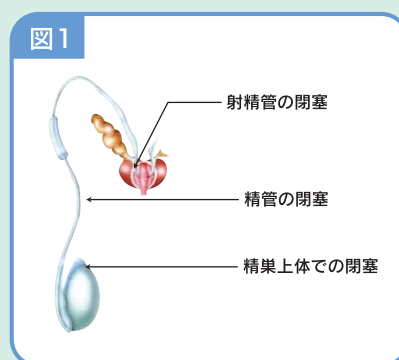
[はじめに]

今回は、泌尿器科で行われている男性不妊症の治療について書かせていただきます。妊娠は精子と卵子が受精して子宮に着床することで成立しますが、精子は精巣(睾丸)で造られて、精巣上体(副睾丸)に貯えられ、精管、射精管といった精子の通り道(精路)を通過して、尿道、体外へと射精により放出されます。精巣の大きさは、精子を造る能力(造精機能)を反映します。即ち、小さい精巣では十分に精子は造られていません。

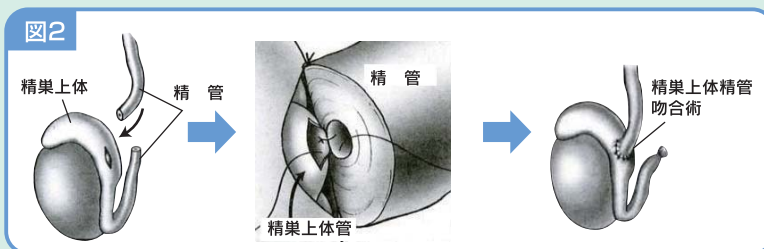
[閉塞性無精子症]

精巣では十分に精子が造られているのに、精路の通過障害のために射精された精液の中に精子を認めないのが閉塞性無精子症です。無精子症であるにもかかわらず、ほとんどは精巣が十分な大きさです。

その閉塞部位としては、主に精巣上体、精管、射精管があげられます(図1)。前二者に対しては、顕微鏡下に精巣上体精管吻合術(図2)、精管精管吻合術を、後者には経尿道的射精管切除術を施行して、精路が再建されれば自然妊娠が可能となります。



全国29泌尿器科の多施設調査で図3のような報告がされていますが、長崎大学泌尿器科でも精巣上体精管吻合術を行った18例中10例(55.6%)に精子が出現、6例(33.3%)に自然妊娠・出産がみられました。



また、射精管の通過障害に対する経尿道的射精管切除術で精液所見が正常化して自然妊娠・出産がみられたカップルもあります。閉塞性無精子症では精巣内精子採取術一卵細胞内精子注入法即ち精巣から採取した精子によるいわゆる顕微授精でも妊娠・出産は十分に可能ですが、正確な診断のもとにまずは自然妊娠が期待できる精路再建術を選択すべきであると考えます。なかには、先天性精管形成不全のように精路再建が不可能な場合もあります。

図3 全国29泌尿器科の多施設調査 (1981～1999)

精路再建術実施580例中	
精子出現率	
精管精管吻合術	64.8%
精巣上体精管吻合術	47.3%
自然妊娠率	24.2%

日本不妊学会雑誌2000年
(現 日本生殖医学会雑誌)

[非閉塞性無精子症]

精路の通過障害がなく、精巣がたいへん小さい無精子症の精巣では、精子はもちろんその元になる細胞すらほとんどありません。このような非閉塞性無精子症のカップルにはいたずらに期待をいだかせず、養子をとるか非配偶者間人工授精即ち第三者からの精子提供による人工授精しかない、

かつては説明してきました。ところが、このような精巣でも精巣内精子採取術特に顕微鏡を使って行えば、精子が採取されることがあり、顕微授精が行われる現在では妊娠・出産が可能となり多数の報告があります。非閉塞性無精子症の代表格でかつては絶対不妊とされていた性染色体異常のクラインフェルター症候群でも、特に若年例においては鏡視下採取法の精子採取率は高いとされ、多くの妊娠・出産が報告されています。生殖医療技術の進歩はかつての常識をくつがえしてしまいました。

[低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症]

ゴナドトロピンという精子を造るのに必要で脳下垂体から分泌されるホルモンであるLH(黄体形成ホルモン)とFSH(卵胞刺激ホルモン)が低く、精巣から分泌される男性ホルモンも低いために、「体毛が薄い」「声変りがない」「陰茎や精巣が小さい」「精子が出来にくい」といった様々な症状がでるのが低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症(MHH)です。その治療には低くなっているゴナドトロピンを補充する治療が行われます。LH作用を持つhCG(胎盤性性腺刺激ホルモン)とLHとFSHの作用を併せ持つhMG(下垂体性性腺刺激ホルモン)の補充が従来行われてきて、長崎大学泌尿器科でも約2年間の補充療法の後、不十分なものの精子が造られるようになり精液中の精子による顕微授精で妊娠・出産に至ったカップルを経験しました。しかしながらhCG-hMG補充療法では週に2~3回の通院が必要なことや、FSH作用が不十分という欠点があり、思ったほどの治療効果がなかなかでませんでした。平成18年1月に遺伝子組換え技術を用いて人工的に合成されたFSH製剤が承認され、糖尿病治療薬インシュリンのように自己注射も可能となって、FSHの補充が充分となりMHHの治療成績は飛躍的に向上しました。数ヶ月の治療で、小学校低学年のおちんちんが大人のそれへと成長し、射精もなかったのに精子のある精液が出るようになります。男性不妊症治療における最新のピックスです。

[おわりに]

男性不妊症の大半を占める原因不明の造精機能障害に対する特効薬は現在のところありません。婦人科領域での顕微授精同様、泌尿器科でも顕微鏡を用いた精路再建術や精巣内精子採取術、今回はふれませんでした。顕微鏡下精索静脈瘤手術により良好な成績がえられています。遺伝子組換え技術もMHHの治療成績を飛躍的に向上させました。顕微授精は難治性不妊症に悩む夫婦にとって大きな福音となりましたが、夫婦の愛情に包まれた性行為に基づいて生じる自然妊娠が理想であることは言うまでもありません。泌尿器科医としては、正確な診断を行い、まず第一には自然妊娠が可能なカップルにその治療を提供することを心がけています。

第8回佐世保共済病院 市民公開講座開催

外科部長 **井原 司**

平成20年8月9日 第8回佐世保共済病院市民公開講座が当院8階大講堂で開催されました。会場内は多くの市民の皆さん、開業医の先生方、職員の方々と満員となり賑わいました。

今年は『肝臓病診療の進歩～肝がん撲滅に向けて～』というテーマで3人の先生方に講演をして頂きました。

3講演とも日本のリーダー的立場にある先生方の講演とあって、内容は先進的で充実しており、またわかりやすく講演していただいたため、聴講された皆様には本当にいい勉強になったことと思います。また会場からは多くの質問や相談が出され講師の先生の回答に満足された様子で充実した講座となりました。来年もこの公開講座のさらなる発展に努めたいと思います。

講演の内容と講師の先生

- 講演1 肝炎治療と肝がん予防
佐賀大学医学部内科 診療准教授 水田敏彦先生
- 講演2 肝がんの画像診断と放射線科的治療法
佐賀大学医学部放射線科 准教授 入江裕之先生
- 講演3 肝がんの外科的治療の進歩
長崎大学移植・消化器外科 教授 兼松隆之先生



■前列左より、水田先生、兼松先生、木寺先生、入江先生
後列左より、藤澤先生、井原先生、萩原先生、山田先生、川畑先生

趣味を語る

健康管理室医長 **原 敬一**

<鉄分>高値な生活習慣病を患っています。日々の業務で<鉄分>の低下に陥っては、週末に<鉄割>の補給を行っています。多くの少年が一度は、はしかに躍る様に一過性に鉄道に興味を示すものですが、そのうちすっかり興味を失い他の事に興味に移っていくものです。その例に洩れなかったのですが、大学時代に<鉄道研究会>所属の友人に出会って、感染性があるらしく再発してしまいました！

さて、<鉄分>高値な場合の発症形態は多彩を極めています。車両マニアは、車両をまるで組織学のように分類してゆきます。<撮り鉄>は、珍しい車両や、新車を追いかけて、絶景の走行シーンが撮影できる秘境の地へ出撃してゆきます。<乗り鉄>は、列車乗りまわしや、路線乗りつぶしを行い、中にはJR全線乗車までやってのけてしまう症例もみられます。<音鉄>は、マイク片手に列車に乗り込み走行音や車内アナウンスを、駅に佇んでは駅のベル音や電子音を、線路脇に列車がやってくるのを待ち構えては走行音を録音します。このほかにも、時刻表マニアや切符収集、駅スタンプ収集、駅弁の包装紙収集などの発症形態もあります。また、鉄道模型

収集という発症形態もありますが、それに飽き足らず鉄道模型製作に取り組んだり、ついには一部屋潰して巨大なジオラマを作って、鉄道模型を走らせてしまったりもします。極めつけは、模型鉄道では物足らなくなり本物の車両を庭に置いたり、あろうことか線路を引いて運転までするようになったりします。

自己診断では、<乗り鉄>の発症形態をとっています。それに若干の<撮り鉄>の発症形態がかぶっているといったところです。指宿枕崎線山川一枕崎間の区間を乗車すればJR九州完乗となり懸案となっています。一度指宿枕崎線乗車を試みたことがありますが、その時は接続時間があわただしく同時刻に発車する鹿児島本線乗り列車に乗り込む失態を演じてしまいました。あらぬ方向に走り出してから誤乗車に気づき、乗る予定の列車が枕崎へ向けて走り去っていくのを車窓からボーゼンと見送るトホホなことになってしまいました。九州新幹線全線開業の時に再度指宿枕崎線に挑戦する予定にしています。ところで<鉄分>高値にもかかわらず公言しない<隠れ鉄>もかなり生息しているようです。<隠れ鉄>の方は、声かけをして下さい。



■今年いっぱい廃止となった島原鉄道南線。廃止直前の列車。



■東京-大分間寝台特急富士。大分駅。



■11月で廃止となる初代新幹線車両。博多駅。

地域医療 連携室より

Part.
2

医療法人 村上内科病院

佐世保市城山町3-21
TEL:0956-24-3508

むら かみ ひで き

院長 村上英毅先生

今回はいつも患者さんのご紹介をいただいている村上英毅先生にお願いしました。



城山町で開業しております村上です。当院は昭和40年に父が胃腸科として開業しました。私は福岡大学で呼吸器疾患(主に肺気腫や喘息)を中心に臨床や研究を行いまして、その後消化器を学ぶべく福岡大学筑紫病院消化器科で内視鏡や炎症性腸疾患の勉強をさせて頂き、平成15年に佐世保に戻って参りました。当病院は、内科開業医として生活習慣病の治療や、検診などで病気の早期発見などかかりつけ医としての役目はもちろんですが、今までの経験を生かして呼吸器疾患の治療や、消化管の検査を積極的に行っています。又、療養病棟では長期入院の必要な方にも対応しています。更に介護保険施設としてハナレイ倶楽部(グループホーム、デイサービス、訪問介護サービス)を併設しており、高齢化社会に対するサービスにも力をいれています。

共済病院の先生方にはいつも大変お世話になっております。父が久留米大学放射線科出身という事もあり、特に放射線科の野々下先生にはいつも詳細、かつ丁寧なレポートを書いていただいております。非常に勉強になっております。眼科の宇野先生や内科の原口先生には患者さんは勿論ですが、サルサ(ラテンダンス)やテニス仲間として懇意にさせていただいております。弟も共済病院に循環器医として5年間お世話になっております。外科の先生方には最近紹介する患者さんが減ってきているようですが、井原先生、宜しくお願いします。

医師と患者さんの信頼関係がいかに大事かという事を開業しましてつくづく感じています。これからも佐世保市の医療環境が良い状態を維持できるよう微力ながら頑張っていきたいと思っておりますので、共済病院の先生方、今後ともよろしくお願い致します。



■村上英毅先生と寅雄先生(写真中央)とスタッフの皆さん。

TOPICS 売店の紹介

厚生会 主任

なんぶ みほこ
南部 美保子

昨年8月に改装し店内が明るく広くなりお客様にも喜んで頂いています。売店には食品、雑誌、日用雑貨はもちろんのこと病院専用ケア用品も取り扱っており、ご自宅でも安心して使えるように販売しています。各種テープ、スキンケア用品、酒精綿、弾力ストッキングや腹帯、数枚セットの紙オムツなど入院時に必要な物を売店にて揃えることができますので、ぜひ一度お立ち寄りください。



編集後記

忙しい診療の中、原稿を書いてくださった先生方には毎号感謝しています。わかりやすく、楽しい文章に編集しながら思わず笑みがこぼれました。これからもきょうさいだよりの発行にご協力をお願いいたします。

編集委員 谷口友佳子

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	部長	松見 里美	●				●				●		消化器疾患・内科一般
	〃	藤澤 伸光	●				●				●		呼吸器疾患
	〃	村上謙士郎	●		●				●		●		循環器疾患
	医長	原口総一郎	●						●				腎臓疾患
	医員	高島 毅			●		●						腎臓疾患
	〃	鈴木 邦裕			●				●				呼吸器疾患
	非常勤医	田淵くみ子			●						●		循環器疾患
	〃	有村 忠聰									●		循環器疾患
小児科	〃	多胡 素子					●						循環器疾患
	部長	岡 尚記	●		●						●		小児一般
	医長	黒田 直宏	●		●		●						小児アレルギー疾患
	医長	竹ノ下由昌					●		●				気管支喘息
	非常勤医	小松 博子							●		●		
	乳児健診						●						火曜PM1:00～
	慢性外来								●				水曜PM2:00～
喘息外来									●			木曜PM2:00～	
外科	外科顧問	松永 章							●				内視鏡下外科・一般外科・消化器外科
	部長	井原 司	(●)				●		●				内視鏡下外科・一般外科・消化器外科(月曜日は紹介のみ受付)
	医長	澤田健太郎	●				●						血管外科・一般外科 ※乳癌検診は、10時までに
	〃	川畑 方博			●					●			一般外科・肝胆膵外科 受付を行って下さい。
	〃	原田 洋			●					●			一般外科・消化器・乳腺外科 (要予約)
	医員	龍 泰彦	●				●						一般外科・消化器外科
	〃	平川 雄介							●				一般外科・消化器外科
〃	迫田 京佳			●						●		呼吸器外科	
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●				●				●		骨関節疾患全般
	部長	久我 尚之			●		●		●				・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術
	医長	寺本 全男	●						●		●		・膝・肩・手・肘の鏡視下手術
	医員	花田麻須大	●		●								・脊椎外科、腰部疾患手術
	〃	貝原 信孝			●				●		●		・肩・手の外科
	〃	古賀美穂子	●		●		●						・リウマチ、スポーツ整形外科、足の外科など
皮膚科	〃	畑野 崇					●		●				・骨・軟部腫瘍
	医長	御塚加奈子	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹
泌尿器科	医員	鶴田 紀子	●	●	●		●		●	●	●		皮膚腫瘍、男性型脱毛、その他
													皮膚小手術(火・水・金の午後) 陥入爪、ピアスなど
産婦人科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患
	部長	江口 二郎			●				●		●		体外衝撃波結石破砕術(E SWL)、尿失禁、尿路感染
	医員	東武 昇平			●		●						男性不妊(江口部長)
	〃	松尾 朋博	●						●				
産婦人科	院長	木寺 義郎	●						●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	医長	河野 善明			●		●		■		●		※●：婦人科診療日 ※■：産科診療日
	医員	岩永 巖	●■		▲		●■				●		※▲は病棟回診後に診察開始のため遅れます。
眼科	〃	山本 奈理	●		●				●		■		
	医長	宇野 英明	●		●	※	●	※	●		●		白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、眼瞼下垂手術
耳鼻咽喉科	医員	舌間 朋美	●		●	※	●	※	●		●		翼状片手術、レーザー光凝固術、光線力学療法、眼瞼痙攣のボツリヌス注射など
	医長	佐藤 公治	●		●		●		●	●			※火・水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)
放射線科	医員	渡邊 智	●	●	●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	〃												耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	医長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査、消化管造影	
	医員	松藤 奈穂											
	〃	江畑 智広											
麻酔科	部長	深野 拓	●				●		●				月～金午前ペイン外来
	医長	吉村 真紀	●						●		●		月～金午後は手術麻酔
	医員	鶴瀬 匡祐			●		●				●		
	〃	木本 文子	●		●				●				
	〃	中原 春奈			●		●						
歯科	非常勤医	別府 幸岐											
	医長	川村 英司	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科・口腔外科(紹介患者のみ新患受付)
健診センター	医員	中井 大史	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	顎変形症(外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・マズピースなど
	医長	原 敬一	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。										
糖尿病教室							●		●		●		(第2・3週のみ) ※詳細は内科外来へお尋ね下さい。
ストーマ外来			※お申し込み・お問い合わせは、外科・泌尿器科外来までお電話下さい。										